



第21-09号

2021年4月28日

2021年度 鉄道事業設備投資計画

～ 「サービスの向上」「安全対策の強化」を重点に総額254億円を投資 ～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、お客さまに安心、便利、快適に小田急線をご利用いただくため、2021年度、鉄道事業における総額254億円の設備投資を実施します。

当社では、2018年3月に代々木上原駅～登戸駅間を複々線化し、次いで、新宿駅～代々木上原駅間における各駅停車の10両編成での運転を開始しています。また、新型通勤車両5000形の導入など、引き続き、通勤時間帯を中心とした快適な輸送サービスの実現に努めています。

今年度も5000形車両の増備による通勤環境のさらなる改善を進めるとともに、中央林間駅の改良を推進するなど「サービスの向上」を図ります。また、ホームドア設置によるホーム上の安全対策、法面改修や耐震補強による自然災害への対応など「安全対策の強化」を重点に設備投資を実施します。

2021年度鉄道事業設備投資計画の概要

1 サービスの向上

- ① 新型通勤車両「5000形」4編成の増備
- ② 通勤車両「1000形」2編成のリニューアル
- ③ 中央林間駅に東口改札を新設

2 安全対策の強化

- ① ホームドアの設置
新宿駅（8・9番ホーム）
登戸駅（3・4番ホーム）
- ② 自然災害（土砂崩壊等）による被害を抑える法面改修
愛甲石田駅～伊勢原駅間
東海大学前駅～秦野駅間
多摩線
- ③ 大地震に備えた橋梁の耐震補強
町田駅～相模大野駅間
渋沢駅～新松田駅間



新型通勤車両5000形



登戸駅（ホームドア、2番ホーム）

2021年度の鉄道事業設備投資計画の詳細は、下記のとおりです。

記

1 サービスの向上

(1) 新型通勤車両「5000形」の増備

新型通勤車両「5000形」を4編成増備します。本車両は、複々線完成後の新たな通勤車両として、拡幅車体の採用や空間の広さを追求したデザインにより、快適な車内をご体感いただけることが特徴です。また、車内防犯カメラや、各車両に1箇所の車椅子スペースを設置するなど、安心感や優しさのある車内環境となっています。



新型通勤車両5000形

(2) 通勤車両「1000形」のリニューアル

通勤車両「1000形」を2編成リニューアルします。車椅子スペース、車内LCD表示器、自動放送装置などを設置することで、どなたにもより安心・快適にご利用いただきやすくします。また、制御装置の更新等による省エネルギー化や、床下機器の低騒音化など、環境面にも配慮します。



1000形リニューアル車

(3) 中央林間駅に東口改札を新設

大和市が策定した「中央林間地区街づくりビジョン」に基づき、市と協議を進め、北口と南口の2カ所に加えて、東口新改札口を年内（秋ごろ予定）に供用開始します。東側への改札新設により、駅北東方面へのアクセスが向上し、連絡通路の混雑緩和も期待されます。また、駅改良工事にあわせてホームドアの設置も進めています。



中央林間駅（イメージ）

2 安全対策の強化

(1) ホームドアの設置

お客さまのホームからの転落やホーム上での列車との接触事故を未然に防止するため、新宿駅（8・9番ホーム）、登戸駅（3・4番ホーム）にホームドアを設置し、今年度中に使用開始します。また、設置するホームドアには新型QRコード（tQR[®]）による「ホームドア自動開閉制御システム」を採用しています。列車の扉ガラス部分にtQR[®]を貼付するとともにホーム上家に設置する専用固定カメラで読み取ることで、車掌の列車扉操作に連動してホームドアも開閉扉いたします。今後は、引き続き1日の利用者数10万人以上の駅へ優先して設置することを予定しており、さらなる安全性の向上を図ってまいります。

※新型QRコード（tQR[®]）は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



登戸駅のホームの様子

＜参考＞ホームドアの設置状況および計画

設置済み	新宿駅（4・5番ホーム）、代々木八幡駅、代々木上原駅、東北沢駅、下北沢駅、世田谷代田駅、梅ヶ丘駅、登戸駅（1・2番ホーム）
2021年度	新宿駅（8・9番ホーム）、登戸駅（3・4番ホーム）
2022年度～	町田駅、相模大野駅、海老名駅、本厚木駅、中央林間駅、大和駅

※ 1日の利用者数10万人以上の駅のうち、新百合ヶ丘駅、藤沢駅については、駅舎の大規模改良工事にあわせてホームドアの整備を計画しているため、設置時期は未定です

(2) 法面の改修

大雨による土砂崩壊などの被害を抑制するため、昨年度に引き続き、愛甲石田駅～伊勢原駅間、東海大学前駅～秦野駅間において法面の強度向上を図る改修工事を進めます。また、多摩線では排水設備の整備などにより健全度の向上を図ります。



改修後の法面の様子

(3) 耐震補強

当社では大規模地震に備えるため、橋梁などの耐震補強に取り組んでいます。今年度からは、町田駅～相模大野駅間および渋沢駅～新松田駅間にある橋梁の耐震補強を進めます。



第2四十八瀬川橋梁（渋沢駅～新松田駅間）

以上